

「共に学び共に育つ体育授業の実現に向けた調査研究」報告会

日時： 令和7年2月7日（金） 13:30～16:30

会場： 神奈川県立スポーツセンター（オンライン配信あり）

神奈川県立総合教育センター体育指導センターでは、障がいのある生徒等が他の生徒と同じ場で、できる限り同じ活動をすることにより、『共に学び共に育つ体育授業』が実現できるよう、3年間の研究を進めてきました。

本報告会では、スポーツ庁の委託を受け、実践研究校である県立高等学校2校で行った研究の成果を報告します。



実践研究校 神奈川県立足柄高等学校

インクルーシブ教育実践推進校である足柄高等学校では、学習内容の理解や仲間とのコミュニケーションに困難さのある生徒が選択した「軟式テニス」の単元において、練習方法やゲームの作戦などを相談する際の手立てを工夫して、誰もが考えを伝え合って運動に取り組むことができる授業を行いました。



実践研究校 神奈川県立座間総合高等学校

車いすを使用する生徒が在籍する座間総合高等学校では、その生徒が選択した「硬式テニス」の単元において、車いすを使用する生徒と他の生徒と一緒に活動するために、用具やルール、活動方法などを工夫して、誰もが練習やゲームに参加することができる授業を行いました。

報告会への参加申込み、開催に関する資料については、右のQRコードでご確認ください。
（神奈川県立総合教育センター体育指導センターのホームページにつながります。）

【問合せ先】 神奈川県立総合教育センター体育指導センター

電話 0466-81-5612

電子メール taiiku-c.kenkyu@pref.kanagawa.lg.jp

